

放課後等デイサービス自己評価表 <事業所全体>

2023.3.20

ひと・まちすりーえす

領域	番号	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	○工夫している点 ●課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用者の活動等のスペースが十分に確保されているか。	15	1			○十分な活動スペースを確保している。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	13	1		2	○専門的な職員がおり、児童指導員資格者が、常勤・非常勤者合わせて6人いる。(うち、特別支援学校教諭免許状所持者が5人)
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる空間になっているか。	16				○清掃活動に力を入れている。 ○除菌及び常時換気を徹底している。 ●2階の暖房温度の調整が必要。
	4	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。	9	7			○外階段はスタッフが付き添い、安全確保をしている。 ●外階段がやや急で危険性がある。 ●蛍光テープやすべり止めの対策
業務改善	5	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、職員が参画しているか。	15			1	○スタッフ会議(週1回)により実施。
	6	アンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	16				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			8	●NPO法人の理事会に報告し、評価を得ているが、実施に向け検討する。
	8	職員の資質向上を図るため、研修の機会を確保しているか。	16				○定期的に所内研修及び所外研修を行っている。
	9	自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	13			3	○自己評価は毎年ホームページで公開している。保護者と水戸市に報告。
適切な支援の提	10	利用者と保護者のニーズや課題を客観的に分析して個別支援計画を作成しているか。	15			1	○契約時のアセスメントやその後のモニタリングにおいて作成・改善している。
	11	利用者の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	13	1		2	
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	16				○各個人の「今週のプログラム」に反映させ、「すりーえす検定」などで検証している。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1		1	○常勤スタッフを中心に週1回のスタッフ会議・ケース検討で行っている。
	14	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	16				○「活動の基本的な考え」をもとに、様々な活動を取り入れ、月間予定表に反映させて実施している。
	15	利用者の状況に合わせ個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか。	15			1	
16	学校の授業日、休業日に応じて課題をきめ細かく設定し、支援しているか。	14			2	○休業日は授業日とは別個の普段できないプログラムを作成し、実施している。	

供 適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日の支援内容や役割分担について確認しているか。	16				○活動シートにより活動前の打合せを行い 活動の流れ、グループ編制、スタッフの役割分担などの共通理解を毎日行っている。	
	18	支援終了後に、その日の支援について振り返りを行い、問題点や課題を共有しているか。	14	2			○活動日誌を個別に作成し、共有している。	
	19	日々の支援に対して、的確に記録をし、支援の検証、改善につなげているか。	16				○活動日誌の中に評価欄を設けて累積しケース会議やモニタリングで活用し、支援の改善を行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	13			3	○利用開始後1～2か月後の面談及び1月～2月にモニタリングを実施している。	
	21	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 (自立支援・日常生活充実のための活動、創作活動、地域交流の機会、余暇の提供)	16				○基本活動を組み合わせたプログラムを作成し、実施している。 ●地域交流は相手先との相談を進めており、コロナの状況を見ながら今後進めたい。	
関係機関や保護者との連携	22	学校との情報共有(行事予定、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	15			1	○学校との情報共有は基本的に保護者からのグループラインで行い、必要に応じて学校に連絡をして行っている。	
	23	地域自立支援協議会等へ参加しているか。	3	2		11	○管理者が参加している。	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	7	2			7	●現時点では必要性がなく受けていないが、今後必要に応じて検討する。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	1	4	8		3	●学校授業日での交流は、物理的・時間的に難しい。また、コロナ禍で難しいが、今後検討したい。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16					○活動日誌や送迎時の情報交換を行い、共通理解を図っている。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して子育てに関する支援等を行っているか。	14				2	○随時面談を実施し、必要に応じて助言・支援を行っている。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16				○見学・体験時に運営理念や運営規程、支援内容について、リーフレット・パワーポイント等で説明を行っている。 ○利用者負担等については利用契約時に文書を配付し説明を行っている。	
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	16				○必要に応じ、個別に事業所内相談支援を行っている。	
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	12	1			3	○月1回程度土曜サロン(すりえすサロン)を開催し、保護者同士の連携を支援している。
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16					○これまでに緊急に対応を検討するような苦情等は受けていないが、保護者からの日々の意見・要望等には迅速に対応してきている。
	32	活動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16					○月間予定表、今週のプログラム、事業所からのお知らせ等で発信している。
	33	個人情報に十分注意しているか。	16					○月間予定表、今週のプログラム、事業所からのお知らせ等で発信している。

	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	1		1	○LINEや活動日誌、活動ファイルを通して行っている。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか。		2	7	7	●学校授業日での交流は物理的・時間的に難しい。コロナ禍の現状では難しい。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	14			2	○一目でわかるマニュアルの作成をし、事業所内の目につく場所に掲げている。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	9	2	1	4	●定期的・突発的な避難訓練を実施する。 ○食料・飲料水の備蓄をしている。(利用者・職員用)
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			4	
非常時等の対応	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	12			4	○運営規程及び重要事項説明書を契約時に提示し、身体拘束は行わない旨説明している。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			7	○契約時に確認し、アセスメント表に明記し、共通理解を図っている。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	10	1		5	○事業所日誌やスタッフ会議で情報共有をしている。 ●事例はほとんどないが、作成について検討する。

